

【NEWS RELEASE】

2020年7月20日
株式会社 KADOKAWA

原力×角川青羽×テンセント 中国オリジナルeスポーツアイドル VTuber チーム「千鳥」開発！

株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹、以下KADOKAWA）は、中国子会社である角川青羽（上海）文化創意有限公司（本社：中国上海市、董事長：垣貴真和、以下角川青羽）と、中国大手デジタルメディア製作会社・江蘇原力数字科技股份有限公司（本社：中国南京市、董事長兼總經理：趙銳、以下原力）、中国大手配信プラットフォーム企業・深圳市騰訊計算機系統有限公司（本社：中国深圳市、董事長：馬化騰、以下テンセント）以上3社共同で中国オリジナルVTuberチーム「千鳥」を開発いたしましたのでお知らせいたします。



近年中国ではコンピューターゲーム等をスポーツ競技として捉える「eスポーツ」の人气が高く、世界最大級のeスポーツ大国となっています。またバーチャルアイドルや、バーチャルYouTuber（VTuber）も、デジタル技術の向上とIP（コンテンツ）産業の拡大により発展し、高い人気を得ています。

この度角川青羽は、モーションキャプチャーなどのデジタル技術において中国一の実力を持つ原力、テンセントの運営する中国最大の映像配信プラットフォーム・テンセントビデオという最強の布陣と共に、VTuberチーム「千鳥」のキャラクター開発を行いました。開発ディレクションは、KADOKAWAファミ通文庫編集部が担当、キャラクターデザインは日本人イラストレーターの坂野太河氏が担当しています。

チーム「千鳥」の目標は、最強のeスポーツチームになることです。またゲームの腕を磨く以外にも、色々な形でユーザーとの交流を深めていきます。バラエティー番組でのゲーム実況や、ライブ中継、コミック化、商品化などの二次展開など、「千鳥」の展開は多岐にわたる予定です。

2020年7月18日(土)には中国上海市で行われた中国最大級のアニメコミックゲームイベント「CCG Expo 2020」でも発表を行い、中国のユーザーたちより熱い期待を寄せられています。

日中企業の提携による新しいVTuberキャラクター、チーム「千鳥」の今後の活躍にどうぞご期待ください！

※現在「千鳥」の展開は中国国内向けとしております。

■角川青羽について

2018年に中国・上海に設立されたKADOKAWAグループの100%子会社。KADOKAWAがもつ豊富なIP開発ノウハウ、クリエイターとのネットワークを活かし、コンテンツに不可欠な原案（作品コンセプト、シナリオ、キャラクターデザイン等）の制作を通じて、中国エンタメ関連企業とともに、中国及びグローバル市場でヒットする中国国産のIP（漫画、アニメ、ゲーム等）を開発することを目的としている。

■原力について

1999年創立、デジタルメディア製作会社。中国南京に本社、中国国内各地とニューヨークにオリジナル映画制作スタジオ、上海、成都、武漢、サンフランシスコ、タイに独立子会社を設ける。1500人を超えるアニメーション制作人材を抱えており、映像技術開発や、IP企画、創出にも携わる総合メディア企業。

■テンセントビデオについて

中国最大の映像プラットフォーム。中国国産IPの創出についても積極的に取り組み、時代に合ったユーザーの共感を呼べる作品作りを常に目指している。国産IP創出の道はまだ始まったばかりで、テンセントビデオはユーザーやパートナー企業と共に、国産IPの創出に努めていく。

以上

角川青羽

KADOKAWA QINGYU

角川青羽は、KADOKAWAの持つ小説、漫画、アニメ、映画、ゲーム等の豊富な制作経験を生かし、中国の優秀な企業と提携することにより、中国のユーザーに向けた良質なIPの創出を行います。

同時に、日中両国の企業、クリエイターたちに文化交流と技術交流の舞台を提供し、将来更なるグローバル展開を行う作品作りのために事業を続けてまいります。

【本件に関する報道関係からのお問合せ先】

株式会社KADOKAWA

広報課 E-mail : pr-dept@kadokawa.jp

オフィシャルサイト <http://www.kadokawa.co.jp/>